

福岡市食育推進事業一覧（平成24年度実施事業分）

資料 2
平成25年度福岡市食育推進会議
H26.2.4

1 家庭・地域における食育の推進

■乳幼児対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	マタニティスクール	通年	65回 704人	母子の健全な発育をはかるため、妊婦等を対象に、妊娠中及び産後の食生活について講話を行う。	各区健康課
2	離乳食教室	通年	93回 2746人	乳児のよい食習慣の確立と、保護者の育児支援のために、離乳食のすすめ方について試食や講話を行う。	
3	離乳食指導	通年	227回 14307人	各区で実施される4か月児健診時に、離乳食の目的や基本的な注意事項について講話を行う。	
4	子育てサロン・サークル等での母子教育	随時	5回 131人	子育てサロン、サークル、公民館乳幼児学級等で乳幼児の食習慣等について健康教育を実施。	各区地域保健福祉課
5	地域と連携した食育推進	随時	延べ回数 532回 参加延べ人数 21335人	<公民館> 乳幼児ふれあい学級、家庭教育学級、子どもの健全育成関連事業等において、食育をテーマとした学習や料理実習を実施	市民局 公民館調整課
6	「早寝早起き朝ごはん」事業	通年	21回参加者860人 (大人522人、子ども338人) ボランティアスタッフ109人	保育園(所)、幼稚園、食生活改善推進員協議会、福岡女子大学の食育ボランティアサークル等と連携し、子どもの朝食摂取率の向上をめざして調理実習、試食、講話等を実施	東区健康課
7	子どもの生活リズム向上のための普及啓発事業	10～11月	5回 176人 アンケート2000部 リーフレット5200部	子どもの健やかな発育発達を促すために欠かせない「早寝・早起き・朝ごはん・しっかり外で遊ぶ」の基本的な生活習慣の大切さを普及啓発するため、18年度より生活リズムキャンペーン等実施。平成21年度から23年度にかけて、全25校区で「げんきっこチャレンジ教室in○○公園」を開催。平成24年度は生活リズムに関するアンケート調査結果とリーフレットを作成し配布した。	南区地域保健福祉課
8	食育相談会	通年	11回 79人	城南区子どもプラザにおいて、利用者に対して管理栄養士による個別食育相談を実施。	城南区健康課
9	食育エプロンシアター	通年	24回 1,116人	3歳児健診時の待ち時間を利用して、食育エプロンシアターを実施	
10	「元気でいただきます 幼児期の食生活」冊子作成	-	食育情報冊子作成 3,000冊	元気でいただきます食育講習会の実習メニュー紹介を含めた食育冊子を作成	
11	元気でいただきます食育講習会	7月～1月	4回 73人	未就学児・学童の保護者及び学童を対象に、料理実習を伴う食育講習会を実施	西区地域保健福祉課
12	ヤングウーママ★集まれ	随時	2回 / 25人	20歳前後で出産した母親と児を対象に調理実習と食育講話を実施	
13	乳幼児保護者対象出前講座	通年	10回実施 参加者413人	乳幼児からの食育により、地域住民の生涯にわたる健康的な生活を支援するため、「早寝早起き朝ごはん」を基本とした規則正しい生活リズムの確立と成長に応じた食事のすすめ方や必要な栄養バランス等の習得を目的として、乳幼児期の保護者を対象に出前講座の実施。	西区健康課、 地域保健福祉課

■子ども期対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	親と子の料理教室	通年	7回 273人	食生活改善推進員協議会に委託して、各区において親子を対象にした料理教室を開催。	各区健康課
2	博多区食育推進事業（おやつ教室等）	10月28日	10月28日 447人	「まつりはかた」において、おやつクイズなどを実施。	博多区健康課（衛生課）
3	レシピ集「南区 みんなで食育」の配布	10～11月	6500部	南区の小学校（1～3学年児童）にレシピ集を配布	南区健康課
4	子ども料理教室	7～12月	4回実施 参加者99人	子どもの心と体の健康づくりをねらいとして、小学生及びその保護者を対象に、健全な食生活を営むために必要な食に関する理解や判断力を身につけ、適切な食品選択や食事準備のために必要な知識・技術を得るために、材料の選び方、調理、正しい食習慣の形成等の食生活共同体験教室を実施。	西区健康課
5	保護者向け料理教室	11月 2月	2回実施 参加者96人	仕事を持つ子育て中の保護者を対象に、家族の心と身体の健康づくりをねらいとして、健全な食生活を営むために必要な食に関する知識と技術を習得する共同料理教室を実施。	
6	企業共催講座	①6月12日 ②8月8日	①24人 ②25人	消費者教育に取り組む企業と共催で消費生活に関する基礎知識を学ぶための講座を開催。 ①小麦粉のはなし（株）日清製粉グループ本社 ②親子で学ぼう！みるく教室とバター作り（株）明治九州支社	市民局 消費生活センター

福岡市食育推進事業一覧（平成24年度実施事業分）

資料 2
平成25年度福岡市食育推進会議
H26.2.4

1 家庭・地域における食育の推進

■若者期対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	若者を対象とした料理教室	通年	8回 159人	概ね30歳代までを対象とした料理講習会を開催。プロの料理人を講師に招いたり、マナーや健康づくりのための運動も取り入れて実施。	保健福祉局健康増進課
2	学生料理教室	通年	7回 114人	食生活改善推進員協議会に委託して、各区において学生を対象にした料理教室を開催。	各区健康課
3	「かんたん朝食レシピ」を使った啓発事業	通年	—	若者期の朝食喫食率向上のための取組として、区内の大学生と作成したかんたん朝食レシピを南区内の6大学へ配布（レシピ集のデータも配布）し、レシピを用いた学生料理教室を開催	南区健康課
4	わかもの料理教室	12～3月	3回実施 参加者101人	16歳から25歳くらいの年齢で単身（1人暮らし）者、又は家庭で料理を作る機会の少ない学生や若年就労者を対象に、生活習慣病の予防を目的とした食に関する知識と食を選択する判断力を身につけ、自己管理能力の向上を目指すことを主旨とした食育料理講習会を実施。	西区健康課

■成人期対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	地域食生活改善講習会	通年	80回/1886人	食生活改善推進員協議会に委託して、各校区において「野菜をたっぷり食べる」「メタボリックシンドローム予防」「男性料理」などのテーマで講習会を実施	各区健康課
2	生活習慣病に関する健康教育	随時	糖尿病予防セミナー・ メタボリックシンドローム 予防セミナー： 11開設/延665人	所内や公民館等においてメタリックシンドローム等生活習慣病予防の教育を実施。その中で食生活に関する講話を実施。	各区地域保健福祉課
3	食育講演会	2月22日	69人	テーマ：口からはじめるアンチエイジング 講師：第一薬科大学 歯科医師 小武家優子	南区健康課
4	健診で食育 「よかるーもんランチ」	1月～2月	3回 65人	よかドック結果説明会時に健康食を提供し、実際の食事をツールとして効果的な食育を行う。	城南区健康課
5	板屋地区食事調査	7月～8月	13人	買物環境が十分でなく、公共交通機関もない当地区において、食事調査を実施し、現状及び課題を把握し、食事に関する指導助言を行った。	早良区健康課
6	ウエストリーグ ～打倒！メタボ!!～	随時	2シリーズ / 162人	メタリックシンドローム予防の普及啓発を目的として、通信制で運動習慣や食生活改善に向けての継続支援を行う。	西区地域保健福祉課

■高齢者期対象事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	介護予防事業の中での教室	通年	生き生きシニア健康福岡21事業の食生活・栄養関係：延べ97開設	高齢者が要介護・要支援状態になることを予防するための介護予防教室・転倒予防教室等で、低栄養予防のための食生活など講話や調理実習を行う。	各区地域保健福祉課・保健福祉局地域保健課
2	高齢者向け料理教室	10月	1回実施 参加者28人	高齢者の低栄養によるさまざまな機能の低下予防を目的とした、生き生きと生活するための「食べる楽しみ」、旬のものや好みのものを食べる楽しみ、会話をしながら食べる楽しみ、また料理を作る楽しみなどを体験する料理教室を実施。	西区健康課
3	西区版高齢者のための「食べる楽しみ」献立集 作成	1月	5,000部	高齢者を対象とした低栄養予防のための献立集を作成。	

福岡市食育推進事業一覧（平成24年度実施事業分）

資料 2
平成25年度福岡市食育推進会議
H26.2.4

1 家庭・地域における食育の推進

■地域における食育の支援関係事業

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	特定給食施設等指導	通年	集団指導：全市5回813施設、各区1回162施設 個別指導：235施設	給食施設において利用者に対して適切な栄養管理が行われるように、施設に従事する栄養士等を対象とした研修会や個別指導を実施。	保健福祉局健康増進課・各区健康課
2	栄養成分表示の店	随時	427店舗 (新規登録203店舗)	市民が個人の健康づくりに配慮した食事の選択ができるように、飲食店等においてエネルギー量や栄養成分量についての表示を行う店の増加を図る	
3	福岡市健康・食育サポート店	通年	112店舗 (新規登録30店舗)	健康づくりや食生活改善に配慮したメニューやサービスに取り組んでいる飲食店等を登録してもらい、市民の健康づくりを支援する環境整備を推進。	
4	食生活改善推進員養成教室	通年	8開設 181名修了	食を通じた地域のボランティア活動を行う地域リーダーを養成する講座を各区で開催。	各区健康課
5	食生活改善推進員研修会	通年	109回 3888人	食生活改善推進員協議会を対象に、定期的に研修会を実施。	
6	食育月間における食育イベントの実施	6月6日～ 6月7日	108人	食育月間にあわせ、東区食生活改善推進員協議会と協働で、東区役所ロビーにて野菜の計量体験やアンケートを実施し、食育の推進および食育月間の普及啓発を図った。	東区健康課
7	博多区食育推進事業（リーダー養成）	7月	26人	地域リーダー、保育士、教諭等を対象に、食に係る疑問に答えるリーダーを養成。	博多区健康課
8	食育月間パネル展	6月	—	南区役所まちかど文化広場で食育に関するパネルを展示	南区健康課
9	「どんたく広場西新演舞台」における食育の推進	5月3日	200人	早良区食生活改善推進員協議会と協働で、どんたく広場西新演舞台で、「朝食を食べよう」チラシ、ポケットティッシュ、レシピ集を配布し、食育の推進を図った。	早良区健康課
10	健康づくり応援団の店における情報発信	随時	810枚	早良区食生活改善推進員協議会と協働で、ヘルシーメニューレシピのリーフレット等を作成し、商店街の協力店舗（健康づくり応援団の店）を通じて健康情報を発信した。	
11	食育月間における食育の推進	6月19日	200人	早良区食生活改善推進員協議会と協働で、食育月間/食育の日に合わせて、西新エルモールプラリハ前で「朝食を食べよう」チラシ、ポケットティッシュ、レシピ集を配布し、食育の推進を図った。	
12	「サザエさん通り」でウォーキング！における食育の推進	10月14日	163人	早良区食生活改善推進員協議会と協働で、ウォーキング参加者に、減塩テープ、減塩レシピ等を配布し、食育の推進を図った。	
13	健康フェアにおける食育推進コーナー	10月19日	約300人	健康フェア時に、西区の豊かな食材を取り入れたレシピや料理見本、パネル等を展示。	西区健康課

福岡市食育推進事業一覧（平成24年度実施事業分）

資料 2
平成25年度福岡市食育推進会議 H26.2.4

2 学校・保育所・幼稚園等における食育の推進

■保育所関係

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	保育所における食育の推進	通年	187保育所で随時	食育年間計画を作成し、各年齢毎の保育計画（食育含む）に基づき保育や給食時に食育を実施（栽培活動など体験型活動含む）	こども未来局 保育所指導課
2	保育所給食を通じての食育の推進	通年	187保育所で随時	保育所給食で、給食を作るときにおい、音を身近に感じる五感や給食を通していろいろな食材や調理法など、食に関する体験と、友達と一緒に食べる楽しさや食事のマナー等を習得する。	
3	食育計画に基づいた保育所給食献立作成・食育チラシ作成	通年	毎月1回	発育発達に応じた食育計画に基づき、献立作成を実施。月に1回は行事食や郷土料理を取り入れるようにしている。また、保育所において、食育日より・園内掲示等に使用できるように、食育チラシを作成。	
4	給食における食物アレルギー対応	随時	187保育所 対象者約1750人	保育所（園）における除去食や代替え食等のアレルギー対応	
5	乳児食研修会 (講話・調理実習)	5月8日	28人	調理担当者・乳児担当保育士に対し、「乳幼児の栄養管理と食育」についての講話と離乳食の調理実習を行い、給食及び食育についての知識及び技術の向上を図る。	
6	乳幼児食研修（講演会）	5月24日	約230人	調理担当者・乳児担当保育士に対し、「乳幼児の栄養管理と食育」についての講演を行い、給食及び食育についての知識の向上を図る。	
7	新献立調理実習講習会	9月6日 9月7日	2日間実施 延べ42人	給食の質の向上を図るため、新メニュー等について、調理実習を実施。	
8	児童福祉施設に対する巡回指導	5月～2月	126カ所	保育所やその他の児童福祉施設への指導監査時に栄養管理・衛生・食育等についての指導助言を行う。	
9	給食試食会・保護者講演会	随時	各保育所年2回程度実施	保護者等に対して保育所給食や食生活についての理解を深めてもらうため、給食試食会や食に関する講演会を行う。	
10	給食日より・食育日よりなど食生活についての情報発信	通年	各保育所毎月1回程度	保育所給食のメニューや行事食、栄養素の働きなどについてのおたよりを発行し、保護者に配布。また、毎日の給食の展示を行うとともにおすすめレシピの配布。	
11	市ホームページにおける保育所給食の情報発信	通年	毎月1回	保育所給食のおすすめ献立や誕生会献立の献立名や写真、食育情報をホームページに掲載する。家庭でも活用できるよう、おすすめ献立にはレシピを掲載。	
12	幼児の健康と食生活に関する調査	2月	対象 市内187保育所	食育推進を行うに当たって、実態を把握するため、幼児の健康と食生活に関する調査を行う。調査後、全保育所へ調査報告し、情報提供を行う。	
13	アレルギー実態調査	2月	対象 市内187保育所	アレルギー対応の状況を理解し、的確な対応や今後の対策に役立てるため、アレルギー実態調査を行う。調査後、全保育所へ調査報告し、情報提供を行う。	
14	子育て支援事業	随時	32回 参加者410人	給食担当者が、未就学児をもつ保護者（子育てサークル等）に対し、公民館等に向いて、乳幼児食の調理実習を実施する。	
15	こどものえがお展	10/24～ 10/28	ソラリアプラザ1階 (9種類・850部配布)	福岡市保育連盟主催のこどものえがお展の会場において、食事バランスガイド・レシピ・食育についてのパンフレットや冊子を展示及び配布。	

福岡市食育推進事業一覧（平成24年度実施事業分）

資料 2
平成25年度福岡市食育推進会議
H26.2.4

2 学校・保育所・幼稚園等における食育の推進

■学校関係

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	学習と関連付けた給食献立作成	毎月	毎月1テーマ	各月の小学校給食に教科学習等に関連する食材や献立を取り入れて、給食を生きた教材として活用	教育委員会 健康教育課
2	人形劇等による食育指導 (各区食育推進事業)	随時	博多区・南区・早良区・ 西区の関係小学校	人形劇→博多区・西区 DVDによる食育→南区 マナー教室→早良区・中央区・城南区	
3	毎月19日の食育の日	毎月19日	小中特別支援学校	小中特別支援学校において食に関する指導を行なう	
4	朝食喫食調査及び指導	6月	小学校全校 中学校20校	小中学生を対象にした朝食喫食の状況調査と結果の分析を行ない、朝食指導に活用	
5	「弁当の日」	随時	小学校 22校 中学校 19校	手作り弁当の日を年に数回実施	
6	学校給食コンテスト (各区食育推進事業)	10月6日	応募作品数2500件	中学校所属の栄養教諭等が中学生、特別支援学校中・高等部の生徒を対象に給食に出して欲しい献立を募集し、給食への興味・関心を高める	
7	献立配膳図・「食」一口メモ	月1回	小中特別支援学校	各クラス毎に掲示、食に関する情報提供	
8	放送原稿 「きょうの献立なあに」 「ランチタイムズ」	毎日	小中特別支援学校	放送委員等が、毎日の献立に関する説明を行ない、食に関する関心を高める	
9	市内産農産物学校給食活用 推進事業	4～3月	玉ねぎ (300kg) 白ネギ (555kg)	「市内産農産物学校給食活用協議会」において、市内産農産物の活用を推進するとともに、学校給食で利用量の多いじゃがいも・玉ねぎ・人参・白ネギの生産を奨励し、地産地消及び転作田の活用を推進する。	農林水産局農業振興課
10	児童菜園事業	6～2月 (三苫小のみ10～ 翌年5月)	8校 (三苫小・板付小・小笹小・草ヶ江小・弥永西小・入部小・賀茂小・福重小)	児童菜園における野菜の栽培指導及び給食を通じた生産者と児童との交流により、食育を推進する。	
11	学校給食における除去食対応	随時	小学校全校	アレルギー除去食（卵・マヨネーズ・ごま・ごま油・ピーナツ）を実施	教育委員会 健康教育課
12	小中特別支援学校における食物アレルギー実態調査	5月	小中特別支援学校児童生徒	食物アレルギーの実態を調査して、状況の把握を行なう	
13	学校給食週間	1月24 ～30日	小中特別支援学校	学校給食の意義や役割等についての理解を深めるため、学校給食に対する校内行事等の取組を実施	
14	給食試食会	随時	小中特別支援学校 (小)保護者 5,283人 地域 1,117人 中・特 665人	保護者や地域を対象に、試食を通して学校給食についての理解を深めてもらい、学校と連携した家庭や地域における食育推進について講話を行なう	
15	食育便り（給食だより）	月1回	全家庭向け (栄養教諭等配置校)	給食を通じた食育情報の提供	
16	農林水産まつり	11月10日	給食試食800人 栄養診断 献立展示 食育パネルシアター	「食育推進コーナー」を設け、学校給食に対するパネルや献立の展示、給食試食、栄養バランス診断などを行ない、市民へ食の大切さを啓発	
17	料理講習会（各区食育推進事業）	随時	東区3回 早良区1回 西区 1回	東区、早良区の栄養教諭等が5校の保護者を対象に地場産物を取り入れた料理や朝食などについて実技講習会を行なう	
18	小学校 栄養教諭・学校栄養職員による配置校・担当校への食に関する指導	随時	配置校：全学年 担当校：1・3・5年	配置校：食に関する指導の全体計画に基づき、教科等における指導を計画的に実施 担当校：1・5年生全学級を対象に指導	
19	中学校 栄養教諭・学校栄養職員による配置校・担当校への食に関する指導	随時	全中学校	給食センター兼務の中学校籍栄養教諭等が担当エリアの中学校を定期的に訪問し、指導	
20	栄養教諭・学校栄養職員研修	6～1月	栄養教諭、学校栄養職員 4回 延べ284人	児童生徒の食育を担う職員の更なる資質向上のための研修をおこなう	
21	教職員1年次研修会	7月	幼小中特別支援学校 新規採用職員 320人	各学校の食育推進体制について教頭を対象に講習会を行なう	
22	調理業務員等研修	H24年 7月24日 7月31日	小学校調理業務員等 2回 延べ1,020人	給食に関わる職員への食育推進計画の周知及び食育推進に関する研修	

福岡市食育推進事業一覧（平成24年度実施事業分）

資料 2
平成25年度福岡市食育推進会議 H26.2.4

3 生産者と消費者との交流や農林漁業の活性化

No.	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	酪農体験スクール	7月	1回 20人	市内の小学生及びその保護者を対象に、酪農家での酪農体験や乳製品加工工場の見学等を実施。	農林水産局農業振興課
2	酪農体験ツアー	9月	1回 10人	成人を対象に酪農家での酪農体験や乳製品を使った料理教室等を実施。	
3	農業したいけん事業	7月～3月	40人 (2コース定員各25人)	休耕地を利用して、市民に「大豆」「高菜」の種まきから収穫までの農作業や、収穫物を使っての調理・加工体験をしてもらうことで、農業への関心を高めるとともに休耕地の有効活用を進めるもの。	
4	地域の魅力発信事業	11月	【志賀島地区】 勝馬かしわ飯祭り 42人	人口減少、高齢化が進む農漁村地域の魅力を都心部に発信し、地域の振興や活性化を支援する事業。その中のイベントの一つとして、勝馬地区の農家で古くから食べられていたかしわ飯をもっと多くの方に味わってもらうため新米の季節に合わせて開催している。	
5	体験漁業（漁船でGO!）	7～8月	2回 延55人	博多湾での1日漁師体験と地元漁師料理の試食。小学4年生以上59歳を対象に志賀島・姪浜で実施。	
6	朝市・夕市等の直販事業への支援	随時	・年間を通じ直販支援 ・西浦さかなまつり等のイベント支援	地元で生産された農水産物を直接消費者に販売する。姪浜・志賀島の朝市、伊崎・弘の夕市、玄海島の直販市、唐泊のカキ焼き小屋などがある。	
7	玄海うまかもん食育事業	7～3月	48回 1,656人	市内中学校、高等学校の家庭科調理実習における、魚を使った料理教室の開催（7～3月）。小中学生とその保護者を対象とした料理教室「親子でチャレンジ！お魚クッキング」。	
8	食と農の体験教室	5～1月	産地見学・料理教室 4回 65人 食育推進事業（生産者との交流会・親子料理教室・みそづくり体験） 全4回 96人	市内産野菜を食材とした市民対象の料理教室と併せ、産地や直売所の見学、青年農業者との交流会やみそづくり体験等により市内産農畜産物及び農業に対する消費者の理解促進を図るとともに、食育を推進する。料理教室で使用したレシピは、リーフレットの形で市民に広報し、市内産野菜の消費拡大を図る。	農林水産局農業振興課
9	女性農業者育成支援事業	8～3月	味噌づくり 小学校34校（うち幼稚園2園）、3,079人	女性農業者を地域農業を支える人材として育成することを目的とした事業の一環として、また、食と農の知識の普及や地域農業文化の継承のため、小学校に向いて味噌づくりの指導等を行う。	
10	中央卸売市場料理教室	2～3月	72人	調理学校の先生を講師に向かえ、魚、肉、野菜等の生鮮3品のうち1つをメインテーマに調理実習を行い、生鮮3品の普及促進、食育及び市場の紹介を図る。	農林水産局市場課

4 食文化の継承と国際交流

No.	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1	健康・食育サポート店（再掲）	通年	38店舗	福岡市（県）内産の農林水産物を継続的に5品以上使用していたり、伝統料理や郷土料理を提供するなど食文化の伝承に努めている飲食店等を登録	保健福祉局健康増進課
2	地域食生活改善講習会（再掲）	通年	20回/437人	食生活改善推進員に委託して実施する料理講習会に、テーマとして「地産地消」「郷土料理・行事食」を設定して実施している。	各区健康課
3	郷土料理普及啓発	5月	約400人	どんたくの時に博多区食生活改善推進員協議会と一緒に「がめ煮」を紹介	博多区健康課

福岡市食育推進事業一覧（平成24年度実施事業分）

資料 2
平成25年度福岡市食育推進会議
H26.2.4

5 安全安心な食生活

■食品の安全性の確保

事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1 取去検査	通年	理化学検査：2,346件、細菌検査：1,486件を実施し、27件（理化学：21、細菌：6）の違反を発見（食品衛生検査所、食肉衛生検査所を含む）	市内の製造所や販売店で食品を抜き取り、細菌、食品添加物、残留農薬等の検査を行い、食品の安全性を確認する（抜き取りは、各区衛生課で、検査は保健環境研究所で実施）	保健福祉局 食品安全推進課 （各区衛生課・食肉・食検・保環研）
2 食品取扱施設に対する立入検査	通年	・食品衛生法の許可を要する施設32,357件に対し、延べ37,959回立入調査を実施 ・それ以外の食品取扱い施設15,182件に対し、延べ30,179回立入調査を実施（条例許可施設、給食施設を含む）	食品取扱い施設に立入り、施設の衛生状態や販売される食品の表示の確認や事業者に対する指導やアドバイスをこなす（各区衛生課）	保健福祉局 食品安全推進課 （各区衛生課）
3 集団給食施設(学校給食)などに対する立入検査	通年	対象施設783件に対し、延べ665回立入調査を実施	学校、保育所、社会福祉施設などの集団給食施設に立入り、衛生状態の確認や食中毒の予防のアドバイスを行う（各区衛生課）	
4 食品衛生研修会	4月	4月16日 87人 4月25日 約230人	保育所やその他の児童福祉施設における衛生管理について講演会を開催し、安全な給食の提供を行う。	子ども未来局 保育所指導課
5 特定給食施設研修会（再掲）	春と秋	2回：377人	福岡市内の特定給食施設従事者を対象に、給食施設における衛生管理をテーマに研修会を実施	保健福祉局 健康増進課

■食の安全安心に関する情報発信と情報を読み解く力の育成

事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
1 暮らしの実験講座	随時	62人	グループからの要望により、公民館等に出向き、糖度測定等の実習を交えた講座を開催。 テーマ/ジュースの中の砂糖の量はどのくらい！ 講師/消費生活センター職員	市民局 消費生活センター
2 消費生活情報誌「暮らしのEYE」	年4回	各10,000部	公共施設、銀行、郵便局のほか、教育現場における消費者教育支援のため、中学校、高校、大学等に送付。 6月号：今話題の塩麴を知らう 9月号：アルコール飲料ってどんな飲み物？ 12月号：缶詰を暮らしの中に 3月号：食品のロスを減らそう！	
3 暮らし上手のヒントの発行・配布	2月	A5版 20,000部発行	生活衛生に関する検査結果や行政の取組を解説した情報誌の発行・配布 リビング福岡へ掲載、WEBでの掲載、冊子の配布	保健福祉局 食品安全推進課 （各区衛生課・食肉・食検・保環研）
4 ホームページによる食品の安全性に関する情報提供	通年	トピックスや記者投げ込み資料を適宜掲載 違反食品等の情報を四半期毎に掲載	本市ホームページによる食品の安全性に関する情報の提供	保健福祉局 食品安全推進課 （各区衛生課）
5 市場（食品衛生検査所）見学	通年	出前講座の実施2回64名 施設見学20回596名 食品衛生月間行事1回22名	消費者等への情報提供により、消費者の食に対する「安全・安心」の確保を図る。	保健福祉局 食品安全推進課 （食検）
6 食品衛生月間行事	8月	親子100組（253人）、食肉は36人	食品衛生月間行事において、料理教室や工場・市場見学等を通し、食中毒予防の啓発を実施。	保健福祉局 食品安全推進課 （各区衛生課・食肉・食検）
7 バザー開設者に対する衛生講習	通年	回数：132回 参加人数：4,973人	地域でのバザーや模擬店等で提供される食品の衛生確保のための講習会の開催や保健所での乳幼児健診などを利用した食中毒予防の講習会の開催	保健福祉局 食品安全推進課 （各区衛生課）
8 市民を対象とした講習会	通年	回数：58回 参加者：1,610人	市民を対象とした「暮らしのステップアップセミナー」や出前講座の開催	
9 食品工場等見学・交流会	4～9月	3回（48人）	施設見学（食品工場など）の後、参加者、工場、保健所職員で質問・感想を話しあう。	保健福祉局 食品安全推進課 （東区衛生課）
10 東区イベント「健康フェスティバル」	10月	48人	衛生課ブース「食品衛生・環境衛生相談コーナー」を設置し、手洗体験を通じて衛生教育を行う。	
11 会社員のための健康情報定期便	春、夏、秋、冬の計4回	毎回約700社	健康に関するチラシを作成し、春、夏、秋、冬の計4回、企業への郵送及び電子メールにより情報提供を行った。	保健福祉局 食品安全推進課 （博多区衛生課・健康課）

福岡市食育推進事業一覧（平成24年度実施事業分）

資料 2
平成25年度福岡市食育推進会議
H26.2.4

5 安全安心な食生活

■食の安全安心に関する情報発信と情報を読み解く力の育成

	事業名	実施時期	実績 (人数・件数等)	内容	担当局・課 (関係課)
12	食の安全安心探検隊	7～10月	3回シリーズ（15人）	食の安全安心確保を目的として、消費者が日頃利用しているスーパーから試買検査を行うとともに、当該スーパーの衛生検査を実施し、その結果をもとに消費者・スーパー・行政の3者で意見交換会を実施した。	保健福祉局 食品安全推進課 (博多区衛生課)
13	食肉の生食の危険性を訴えるパンフレットの作成及び配布	通年	子どもの保護者 約2,700枚 専門学校生徒等 約3,200枚	食肉の生食の危険性を訴えるパンフレット「STOP!肉の生食」の作成及び配布	保健福祉局 食品安全推進課 (中央区衛生課)
14	中央区イベント「健康フェア」	10月	161人	衛生課ブース「しっかり手洗、キレイな手」を設置し、手洗い体験を通じて衛生教育を行う。	
15	市政だより等による情報発信	通年	市政だより（区版） 1回 保健衛生だより（区版） 1回 区役所掲示板 4回 (計4ヶ月) フリーペーパー 20,000部 チラシ等3,800セット配布	市政だより、保健衛生だより（区版）記事掲載 区役所掲示板での啓発 フリーペーパーへの記事の掲載 市民へ食品衛生月間及び食中毒予防のための情報を広く周知するため、食品衛生月間のチラシ等を街頭で配布	保健福祉局 食品安全推進課 (南区衛生課)
16	食の安全安心推進事業「タメになるため蔵食ゼミ」	9～12月 3月	講座：5回シリーズ (20人) フォロー会（15人）	公募した区民20名を対象に、5つの講座をシリーズで開催 ①②食の基礎講座、参加者ワークショップ③食品工場見学とスーパーでの試買④食品検査と検査機関の見学⑤まとめと意見交換会 5つの講座と別にH23(第1期)、H24(第2期)の講座参加者を対象としたフォロー会（同窓会）を行い、専門家を招いて講習会と意見交換会を実施した。	
17	検査で学ぶ食品講座	8月	2回シリーズ（延べ110人、大学生6人）	市販の食品を検査して、食品添加物や農薬について学ぶ（中村学園大学との共働）	保健福祉局 食品安全推進課 (城南区衛生課)
18	食の安全安心スクール	H24. 6～ H24. 12月	4回シリーズ福岡市立福岡女子高校、食物調理科の生徒40人参加	事業者や行政の食の安全に関する取り組みを消費者に知ってもらうことで、お互いの信頼関係を創る足がかりとし、食の安心へとつなげる	保健福祉局 食品安全推進課 (西区衛生課)